

社会学系コンソーシアム通信 第18号

2014年1月

社会学系コンソーシアム通信第18号をお届けいたします。近々行われる学会大会やその他イベントなど各学術団体の活動を広く他の学術団体と共有し、相互のコミュニケーションや交流を広げようとする企画の一環です。

本『コンソーシアム通信』は、(1)事務局にお寄せ頂いた参加学協会及び関連学術団体のイベント詳細、(2)参加学協会の皆様のホームページ上で公表されている学会大会や研究大会のイベント情報、(3)その他事務局からのお知らせで構成されています。

今後も、年3回(6月、9月、1月頃)のペースで、本通信を配信する予定ですので、シンポジウム、学会大会、国際イベントなど、情報提供の場として、皆様に積極的にご利用いただければ幸いです。

1. 参加学協会イベント詳細

☆数理社会学会 第57回大会のご案内

日時 2014年3月7日(金)、8日(土)

会場 山形大学小白川キャンパス

○第57回大会 ワンステップアップセミナー (<http://www.jams-sociology.org/>)

題目：社会的選択理論入門(順序と選択、囚人のジレンマと自由主義のパラドックス、民主制の可能性、公正としての正義など)

講師：志田基与師先生(横浜国立大学)

日時：2014年3月6日(木)15:00~17:00

場所：山形大学小白川キャンパス

申込み期間：2014年2月1日(土)~3月5日(水)

☆日本スポーツ社会学会 第23回大会のご案内

日時 2014年3月21日(金)、22日(土)

会場 北海道大学学术交流会館

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/>

○学生フォーラム

日時：2014年3月21日(金)11:30~13:00

テーマ：アスリートはどこへ行くのか?：「難民」なのか/自己実現なのか

話題提供者：石原豊一先生(立命館大学)

吉田毅先生(常葉大学)

指定討論者：高橋義雄先生(筑波大学)

○実行委員会企画講演

日 時：2014年3月21日（金）16：00～17：00

演 者：藤原辰史先生（京都大学）

演 題：ナチスのキッチン——来たるべき台所のために

○研究委員会企画シンポジウム

日 時：2014年3月22日（土）13：00～16：00

・シンポジウム1「教育とスポーツ」

タイトル：スポーツと教育の場における体罰の位相

登壇者：奥村隆先生（立教大学）

加野芳生先生（香川大学）

西山哲郎先生（関西大学）

司会：杉本厚夫先生（関西大学）

・シンポジウム2「政治とスポーツ」

タイトル、登壇者等調整中

お問合せ先

〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学教育学部 大沼義彦研究室

TEL&FAX：011-706-5437

E-Mail：oonuma[at]edu.hokudai.ac.jp

☆日本保健医療社会学会大会のご案内

日 時 2014年5月17日（土）、18日（日）

会 場 東北大学医学部保健学科、東北大学病院

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2014/program.html>

○教育講演1、2

日時：2014年5月17日（土）15：50～18：00

・教育講演1「保健医療福祉職の自律と法」

平林勝政先生（國學院大學）

・教育講演2：「被災地での保健医療人材の確保と医療活動の復興」

上昌広先生（東京大学）

○シンポジウム「保健医療福祉職が生き生きと働き続けるために（仮）」

日時：2014年5月18日（日）13：00～15：00

シンポジスト：

藤井賢一郎先生（上智大学）「介護職員の離職と関連要因（仮）」

富永真己先生（京都橘大学）「看護職を惹きつける組織（仮）」

末永カツ子先生（東北大学）「被災地における保健師の人材配置に関わる課題（仮）」

指定討論者：白瀬由美香先生（国立社会保障・人口問題研究所）

お問合せ先

東北大学大学院医学系研究科看護教育・管理学分野内
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1
E-mail : jsmhs40[at]nem.med.tohoku.ac.jp

2. 社会学系コンソーシアム第6回シンポジウム詳報

☆社会学系コンソーシアム第6回シンポジウムのご案内

■「高齢社会の若者論 -労働・福祉・コミュニティを考える-

主 催 社会学系コンソーシアム、日本学術会議社会学委員会社会学コンソーシアム分科会、日本学術会議社会学委員会、

日 時 平成26年1月26日（日）14：00～17：00

場 所 日本学術会議講堂

開催趣旨

社会の高齢化がいわれて久しい。2012年度の総務省統計によれば、総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は24.1%に達し、今後も上昇が予想される。それにともない、社会保障給付費は29.6%に上昇し、そのうち高齢者関係給付費は68.1%に達する。高齢化は世界中で進行しているが、なかでも日本は突出しているといわれる。

こうした状況の中で、「若者」論もかつてとは様変わりしているかに見える。若年層を社会的弱者、高齢層を既得権益受益者とする対立構造として捉える乱暴な議論もある。また、実際、社会意識や価値観において、若年層と高齢層の間に大きな断絶も観察される。しかし、当然のことながら、社会はすべての年齢層によって構成される。

311後社会において、年齢層を超えてより良い社会を構想することが、現在、喫緊の課題といえよう。

次 第

開会挨拶

吉原直樹（大妻女子大学社会情報学部教授、日本学術会議連携会員、社会学系コンソーシアム理事長）
司会・オーガナイザー

遠藤薫（学習院大学法学部教授、日本学術会議連携会員、社会学系コンソーシアム理事）

報 告

1：若者論の物質的基礎

武川正吾（日本社会福祉学会、東京大学人文社会系研究科教授、日本学術会議連携会員）

2：高齢化と若者の就業・職業観

太郎丸博（数理社会学会、京都大学文学研究科准教授）

3：社会保障制度における「若者」の位置

阿部真大（日本労働社会学会、甲南大学文学部准教授）

4：〈3・11〉の問題系と「世代」の位置

仁平典宏（日本社会学会、法政大学社会学部准教授）

コメンテーター

白波瀬佐和子（東京大学人文社会系研究科教授）

古市憲寿（東京大学大学院総合文化研究科博士課程、慶應義塾大学 SFC 研究所訪問研究員(上席)）

閉会挨拶

今田 高俊（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授、日本学術会議会員社会学委員会委員長）

お問い合わせ先

社会学系コンソーシアム事務局

連絡先：socconsortium[at]socconso.com

3. 参加学協会イベントカレンダー

3月

7-8日 数理社会学会 第57回大会（山形大学小白川キャンパス）

<http://www.jams-sociology.org/>

21-22日 日本スポーツ社会学会 第23回大会（北海道大学学術交流会館）

<http://jsss.org/>

5月

10日 社会事業史学会 第42回大会（長崎純心大学）

<http://www.jshsw.cher-ish.net/>

10-11日 地域社会学会 第39回大会（早稲田大学戸山キャンパス）

<http://jarcs.sakura.ne.jp/main/meetings/index.html>

17-18日 第40回 日本保健医療社会学会大会（東北大学医学部保健学科, 東北大学病院）

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2014/>

24-25日 関西社会学会 第65回大会（富山大学）

<http://www.ksac.jp/>

31-1日 日本マス・コミュニケーション学会 2014年度春季研究発表会（専修大学）

<http://www.jmscom.org/>

6月

7-8日 日中社会学会第26回大会（大同大学）

<http://www.japan-china-sociology.org/>

9月

6-7日 第30回 日本解放社会学会大会（関西学院大学）

<http://sociology.rl.shudo-u.ac.jp/liberty/taikai/taikai14.html>

6-7日 第24回 日本家族社会学会大会 (東京女子大学)
<http://www.wdc-jp.com/jsfs/regulation/index.html>

11-12日 日本都市社会学会 第32回大会 (専修大学生田キャンパス)
<http://urbansocio.sakura.ne.jp/>

11月

22-23日 第87回 日本社会学会大会 (神戸大学)
<http://www.gakkai.ne.jp/jss/2014/11/22000000.php>

29日 日本社会福祉学会 第62回秋季大会 (早稲田大学)
<http://www.jssw.jp/event/index.html>

4. コンソーシアム事務局からのお知らせ

(1) 「世界へのメッセージ」の進捗状況

前回までの通信でもお伝えしておりますとおり、社会学系コンソーシアムは、2014年に横浜で行われる国際社会学会ISAの世界社会学会議WCSに向けて、参加学協会の皆様との共同で、「世界へのメッセージMessages to the World Sociologists from Japanese Scholars」(最終タイトルは検討中)を作成する事業を進めています。日本の社会学系学問の活動と成果を世界に示すことを趣旨とし、コンソーシアム参加学協会それぞれが歴史や研究動向、3.11以降の課題を踏まえて執筆したメッセージを一冊にまとめてDVDおよび冊子体で公開する予定でいます。

昨年3月以降、「世界へのメッセージ編集委員会」が実質的に活動を開始し、これまでに9回開催された委員会を通じ、様々な検討を重ねて参りました。参加学協会の皆様に提出いただいた日本語原稿の英訳とそのチェック、および英語原稿のチェックとその確認は最終段階に進んでおり、3月までにはDVDおよび冊子体の最終内容ができあがる予定です。参加学協会の皆様方には英訳稿および英語稿の最終チェックをお願いしますので、ご協力ほどよろしく願いいたします。

世界へのメッセージ編集委員会
委員長 庄司興吉

(2) 評議員変更に伴う、各参加学協会の事務局へのお願い

社会学系コンソーシアムは参加学協会の皆様方からのご協力により成り立っています。本コンソーシアムが参加学協会の間をつなぐネットワークとしての機能を十分に果たすためには、各学協会の評議員の先生方と迅速かつ確実に連絡を取ることができる体制が必要となってきます。ご足労おかけしますが、本コンソーシアム評議員となる先生に変更がある際には、変更日と後任者の情報(氏名、所属、メールアドレス)を社会学系コンソーシアム事務局(socconsortium[at]socconso.com)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

事務局・問い合わせ

『社会学系コンソーシアム通信』やコンソーシアムのホームページは、参加学協会の皆様の情報交換の場として積極的にご活用頂けましたら幸いです。掲載したい情報やご質問など、お気軽に事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。

***事務局（慶應義塾大学内）**

有末賢・石田幸生・村山陽

E-mail : [socconsortium\[at\]socconso.com](mailto:socconsortium[at]socconso.com)

Website : <http://www.socconso.com/>

***ニューズレター・社会学系コンソーシアム通信編集担当**

渡辺秀樹・橋本健二・村山陽